



平成26年2月12日

各位

株式会社T&Dホールディングス
 (コード番号 8795 東証第一部)
 太陽生命保険株式会社
 大同生命保険株式会社
 T&Dフィナンシャル生命保険株式会社

平成26年3月期第3四半期決算のお知らせ

T&D保険グループ(T&Dホールディングス、太陽生命、大同生命、T&Dフィナンシャル生命)の平成26年3月期第3四半期(平成25年4月1日～平成25年12月31日)の決算について、以下のとおりお知らせいたします。

契約業績(生命保険会社3社合算：個人保険・個人年金保険)

- 新契約高は、5兆274億円、前年同期から4.5%の減少。
- 解約失効高は、3兆174億円、前年同期から2.5%の減少。
- 保有契約高は、59兆7,122億円、前年度末から0.8%の増加。

損益関係(T&Dホールディングス連結)

- 経常収益は、1兆5,918億円、前年同期から8.6%の減少。
うち保険料等収入は、1兆2,093億円、前年同期から15.5%の減少。
- 経常利益は、1,411億円、前年同期から45.1%の増加。
- 四半期純利益は、610億円、前年同期から54.4%の増加。

通期業績予想

- 通期業績予想の修正はありません。

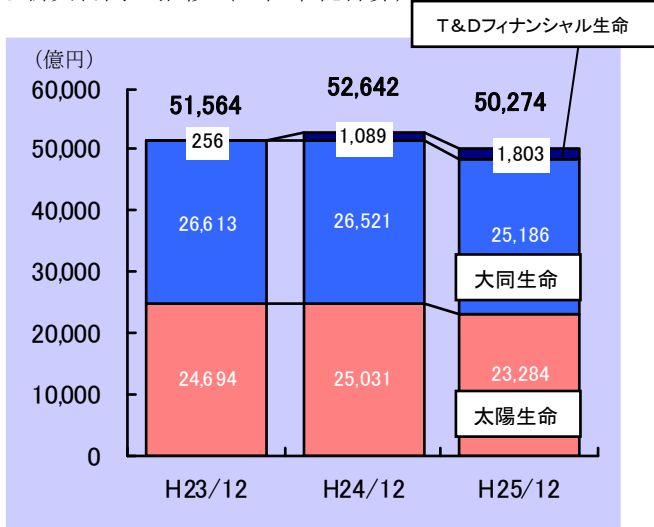
以上

【お問合せ先】

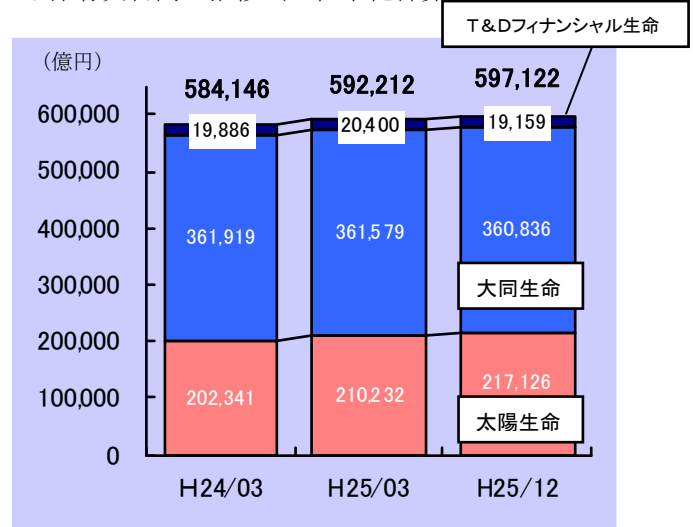
株式会社T&Dホールディングス	広報部	佐藤・今井	TEL 03-3434-9181
太陽生命保険株式会社	広報課	松島	TEL 03-3434-5257
大同生命保険株式会社	広報課	西岡	TEL 03-3434-9190
T&Dフィナンシャル生命保険株式会社	広報課	進藤	TEL 03-3434-8840

[契約業績（個人保険・個人年金保険）]

○新契約高の推移（3社単純合算）



○保有契約高の推移（3社単純合算）



(単位：億円)

	3社単純合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第3四半期累計	前年同期比	当第3四半期累計	前年同期比	当第3四半期累計	前年同期比	当第3四半期累計	前年同期比
新契約高	50,274	2,367 減 (4.5%減)	23,284	1,746 減 (7.0%減)	25,186	1,335 減 (5.0%減)	1,803	714 増 (65.6%増)
解約失効高 (解約失効率)	30,174	786 減 (2.5%減)	9,375 (4.46%)	53 増 (0.15ポイント低下)	19,373 (5.36%)	1,655 減 (7.9%減)	1,425 (6.99%)	814 増 (133.5%増) (3.92ポイント上昇)
新契約年換算保険料	984	229 減 (18.9%減)	327	275 減 (45.6%減)	511	18 減 (3.6%減)	145	64 増 (79.6%増)
うち医療保障・ 生前給付保障等	131	10 増 (8.9%増)	53	3 増 (7.4%増)	77	7 増 (10.0%増)	0	0 増 (4,222.7%増)

(注) 1. 新契約高には転換による純増加高を含んでおります。
2. 解約失効率は、年換算しておりません。

(単位：億円)

	3社単純合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第3四半期末	前年度末比	当第3四半期末	前年度末比	当第3四半期末	前年度末比	当第3四半期末	前年度末比
保有契約高	597,122	4,910 増 (0.8%増)	217,126	6,894 増 (3.3%増)	360,836	742 減 (0.2%減)	19,159	1,240 減 (6.1%減)
保有契約年換算保険料	14,282	194 減 (1.3%減)	6,366	10 増 (0.2%増)	6,455	88 増 (1.4%増)	1,460	292 減 (16.7%減)
うち医療保障・ 生前給付保障等	1,633	23 増 (1.5%増)	988	15 減 (1.5%減)	610	41 増 (7.4%増)	34	2 減 (7.4%減)

■ 3社単純合算

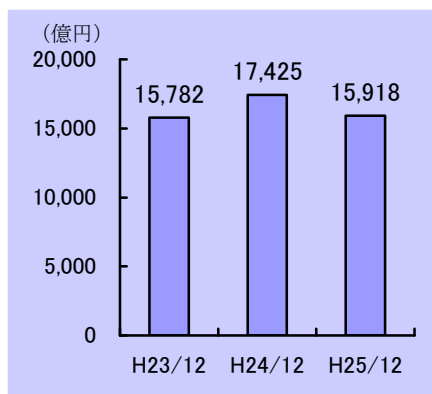
- ・新契約高は、5兆274億円、前年同期から4.5%の減少。
- ・解約失効高は、3兆174億円、前年同期から2.5%の減少。
- ・保有契約高は、59兆7,122億円、前年度末から0.8%の増加。

■ 各社の状況

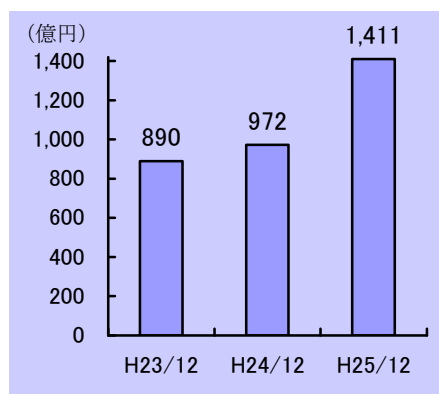
- ・太陽生命の新契約高は、2兆3,284億円、前年同期から7.0%の減少。
これは主に、一時払個人年金保険の販売減少による。なお、主力の個人保険の新契約高は前年同期から4.2%の増加となっている。
また、保有契約高は、2兆1兆7,126億円、前年度末から3.3%の増加。
- ・大同生命の新契約高は、2兆5,186億円、前年同期から5.0%の減少。
これは主に、個人定期保険および一時払終身保険の販売減少による。
なお、主力商品の一つである「Jタイプ※」は3,743億円となり、前年同期から14.9%の増加。これを加算した金額でみた場合、新契約高は2兆8,929億円、前年同期から2.9%の減少。また、同じ基準でみた保有契約高は、3兆7兆1,933億円となり、前年度末から0.7%の増加。
※「Jタイプ（無配当重大疾病保障保険）」は普通死亡の保障がないため、重大疾病保険金額は新契約高・保有契約高には計上しておりません
- ・T&Dフィナンシャル生命の新契約高は、1,803億円、前年同期から65.6%の増加。これは主に、一時払終身保険の販売増加による。
解約失効高は、1,425億円、前年同期から133.5%の増加。これは主に、株式相場の上昇に伴う変額個人年金保険の解約増加による。

[損益関係]

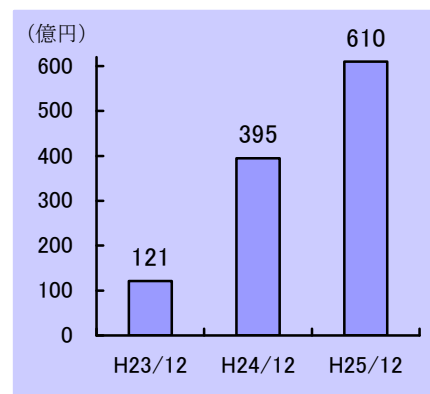
○経常収益（連結）



○経常利益（連結）



○四半期純利益（連結）



(単位：億円)

	T&Dホールディングス連結		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第3四半期累計	前年同期比	当第3四半期累計	前年同期比	当第3四半期累計	前年同期比	当第3四半期累計	前年同期比
経常収益	15,918	1,506 減 (8.6%減)	6,502	2,664 減 (29.1%減)	6,697	94 増 (1.4%増)	3,483	1,956 増 (128.1%増)
うち保険料等収入	12,093	2,210 減 (15.5%減)	5,018	2,638 減 (34.5%減)	5,295	189 減 (3.4%減)	1,766	613 増 (53.2%増)
うち資産運用収益	3,282	675 増 (25.9%増)	1,339	58 減 (4.2%減)	1,235	259 増 (26.5%増)	728	451 増 (163.3%増)
うち利息及び配当金等収入	2,139	251 増 (13.3%増)	1,159	123 増 (11.9%増)	938	114 増 (13.9%増)	52	12 増 (31.7%増)
うちその他経常収益	542	27 増 (5.4%増)	145	32 増 (28.4%増)	165	24 増 (17.1%増)	989	891 増 (912.7%増)
経常費用	14,507	1,944 減 (11.8%減)	5,963	2,741 減 (31.5%減)	5,999	165 減 (2.7%減)	3,322	1,857 増 (126.7%増)
うち保険金等支払金	11,459	1,292 増 (12.7%増)	4,472	591 減 (11.7%減)	3,958	402 減 (9.2%減)	3,021	2,284 増 (309.9%増)
うち責任準備金等繰入額	307	3,013 減 (90.7%減)	377	1,827 減 (82.9%減)	819	262 増 (47.1%増)	45	513 減 (91.9%減)
うち資産運用費用	732	67 減 (8.4%減)	237	145 減 (38.0%減)	358	23 減 (6.2%減)	146	79 増 (117.8%増)
経常利益	1,411	438 増 (45.1%増)	539	76 増 (16.4%増)	697	260 増 (59.4%増)	161	99 増 (159.8%増)
特別利益	0	1 減 (75.4%減)	—	1 減 (100.0%減)	—	0 減 (100.0%減)	—	— (—)
特別損失	226	39 増 (20.8%増)	86	25 減 (22.6%減)	136	73 増 (117.2%増)	3	9 減 (72.5%減)
契約者配当準備金繰入額 (△戻入額)	227	3 増 (1.6%増)	129	10 増 (8.8%増)	98	7 減 (6.7%減)	△0	0 減 (26.8%増)
税引前四半期純利益	957	393 増 (70.0%増)	323	89 増 (38.0%増)	463	193 増 (71.5%増)	157	108 増 (222.5%増)
法人税等合計	344	179 増 (108.0%増)	115	47 増 (69.6%増)	178	102 増 (133.1%増)	44	29 増 (199.7%増)
四半期純利益	610	215 増 (54.4%増)	208	41 増 (25.1%増)	284	91 増 (47.1%増)	113	79 増 (232.4%増)

(参考)

資産運用関係収支 (一般勘定)	1,852	230 増 (14.9%増)	1,101	87 増 (8.6%増)	847	257 増 (43.7%増)	△85	105 減 (—)
--------------------	-------	-------------------	-------	-----------------	-----	-------------------	-----	--------------

- (注) 1. T&Dホールディングス連結の数値については、生命保険会社3社の単純合算とは必ずしも一致いたしません。
 2. 保険料等収入の3社単純合算は1兆2,080億円（前年同期比15.5%減）です。
 3. 特別損失（226億円）のうち、181億円は価格変動準備金への繰り入れです。（太陽生命：76億円、大同生命：104億円、TDF生命：0億円）
 4. 資産運用関係収支（一般勘定）は、一般勘定に関する資産運用収益から一般勘定に関する資産運用費用を差し引いたものです。

■ T & Dホールディングス連結

- ・ **経常収益**は、1兆5,918億円、前年同期から8.6%の減少。
これは主に、太陽生命の一時払個人年金保険の保険料等収入が減少したことによる。
- ・ **経常利益**は、1,411億円、前年同期から45.1%の増加。
これは主に、太陽生命・大同生命で利息及び配当金等収入が増加したこと、並びにT&Dフィナンシャル生命で株式相場の上昇に伴い変額個人年金保険の最低保証収支が改善したことによる。
- ・ **四半期純利益**は、610億円、前年同期から54.4%の増加。

■ 太陽生命の状況

- ・ **経常収益**は、6,502億円、前年同期から29.1%の減少。
これは主に、一時払個人年金保険の保険料等収入が減少したことによる。
- ・ **保険料等収入**は、5,018億円、前年同期から34.5%の減少。
- ・ **経常利益**は、539億円、前年同期から16.4%の増加。
これは主に、利息及び配当金等収入が増加したことによる。
- ・ **四半期純利益**は、208億円、前年同期から25.1%の増加。

■ 大同生命の状況

- ・ **経常収益**は、6,697億円、前年同期から1.4%の増加。
- ・ **保険料等収入**は、5,295億円、前年同期から3.4%の減少。
- ・ **経常利益**は、697億円、前年同期から59.4%の増加。
これは主に、利息及び配当金等収入が増加したことによる。
- ・ **四半期純利益**は、284億円、前年同期から47.1%の増加。

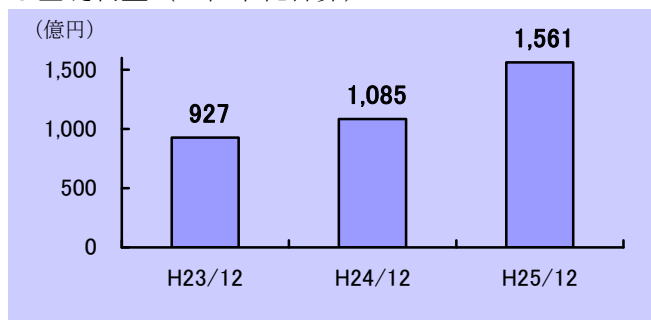
■ T & Dフィナンシャル生命の状況

- ・ **経常収益**は、3,483億円、前年同期から128.1%の増加。
これは主に、保険料等収入が増加したこと、および変額個人年金保険の運用期間満了等に伴う責任準備金戻入額が増加したことによる。
- ・ **保険料等収入**は、1,766億円、前年同期から53.2%の増加。
- ・ **経常利益**は、161億円、前年同期から159.8%の増加。
これは主に、株式相場の上昇に伴い変額個人年金保険の最低保証収支が改善したことによる。
- ・ **四半期純利益**は、113億円、前年同期から232.4%の増加。

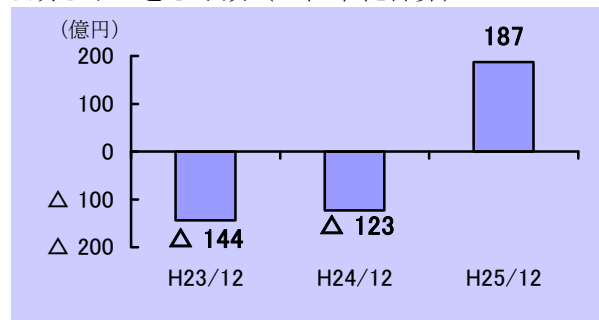
[その他の指標等]

<基礎利益と順ざや・逆ざや>

○基礎利益（3社単純合算）



○順ざや・逆ざや額（3社単純合算）



(単位：億円)

	3社単純合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第3四半期累計	前年同期比	当第3四半期累計	前年同期比	当第3四半期累計	前年同期比	当第3四半期累計	前年同期比
基礎利益	1,561	476 増 (43.9%増)	549	118 増 (27.5%増)	718	179 増 (33.3%増)	293	178 増 (154.4%増)
逆ざや額 (正值の場合は順ざや額)	187	310 改善	93	135 改善	114	176 改善	Δ20	1 増

■ 3社単純合算

- ・ **基礎利益**は、1,561億円、前年同期から476億円の増加。

■ 各社の状況

- ・ **太陽生命の基礎利益**は、549億円、前年同期から118億円の増加。
順ざや・逆ざや額の状況は、前年同期の42億円の逆ざやから93億円の順ざやとなった。
これは主に、利息及び配当金等収入が増加したことによる。
- ・ **大同生命の基礎利益**は、718億円、前年同期から179億円の増加。
順ざや・逆ざや額の状況は、前年同期の61億円の逆ざやから114億円の順ざやとなった。
これは主に、利息及び配当金等収入が増加したことによる。
- ・ **T&Dフィナンシャル生命の基礎利益**は、293億円、前年同期から178億円の増加。
これは主に、株式相場の上昇に伴い変額個人年金保険の最低保証責任準備金戻入額が増加したことによる。
逆ざや額は、20億円、前年同期並み。

<ソルベンシー・マージン比率>

	T&Dホールディングス		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第3四半期末	前年度末比	当第3四半期末	前年度末比	当第3四半期末	前年度末比	当第3四半期末	前年度末比
ソルベンシー・マージン比率	—	—	920.9%	97.5pt 上昇	1,104.5%	61.3pt 上昇	1,023.0%	374.6pt 上昇
連結ソルベンシー・マージン比率	1,049.4%	105.6pt 上昇	927.7%	98.0pt 上昇	1,111.6%	61.2pt 上昇	—	—

(注) T&Dフィナンシャル生命は、子会社等がないため、連結ソルベンシー・マージン比率を表示していません。

■ T&Dホールディングス連結

- ・ **連結ソルベンシー・マージン比率**は、1,049.4%。

■ 各社の状況

- ・ **太陽生命のソルベンシー・マージン比率**は、920.9%、前年度末から97.5ポイント上昇。
これは主に、四半期純利益の計上、劣後ローン・劣後社債による調達等に伴うソルベンシー・マージン総額の増加による。
- ・ **大同生命のソルベンシー・マージン比率**は、1,104.5%、前年度末から61.3ポイント上昇。
これは主に、四半期純利益の計上および負債内部留保の積み上げ、株価上昇による含み損益の増加による。
- ・ **T&Dフィナンシャル生命のソルベンシー・マージン比率**は、1,023.0%、前年度末から374.6ポイント上昇。
これは主に、四半期純利益の計上、変額個人年金保険の運用期間満了等に伴い最低保証リスクが減少したことによる。

<実質純資産>

(単位：億円)

	T&Dホールディングス(連結)		太陽生命(単体)		大同生命(単体)		T&Dフィナンシャル生命(単体)	
	当第3四半期末	前年度末比	当第3四半期末	前年度末比	当第3四半期末	前年度末比	当第3四半期末	前年度末比
実質純資産	19,584	355増	8,475	286減	9,517	664増	1,231	29減

■ T&Dホールディングス連結

- ・ **連結実質純資産**は1兆9,584億円、前年度末から355億円の増加。
これは主に、大同生命の増加による。

■ 各社の状況

- ・ **太陽生命の実質純資産**は、8,475億円、前年度末から286億円の減少。
これは主に、公社債等の有価証券差損益の減少による。
- ・ **大同生命の実質純資産**は、9,517億円、前年度末から664億円の増加。
これは、四半期純利益の計上、負債内部留保の積み上げや有価証券差損益の増加による。
- ・ **T&Dフィナンシャル生命の実質純資産**は、1,231億円、前年度末から29億円の減少。
これは主に、四半期純利益の計上の一方、公社債の有価証券差損益の減少による。

<有価証券差損益(一般勘定)>

(単位：億円)

	3社単純合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第3四半期末	前年度末比	当第3四半期末	前年度末比	当第3四半期末	前年度末比	当第3四半期末	前年度末比
有価証券の差損益	7,781	568減	4,746	520減	2,820	47増	214	95減
公社債	3,502	1,090減	1,925	605減	1,363	389減	213	95減
株式	2,963	965増	1,870	531増	1,093	433増	—	—
外国証券	976	505減	822	437減	153	67減	—	—
その他の証券	189	89増	66	8増	122	80増	—	—
金銭の信託	12	5増	—	—	11	5増	0	0減
買入金銭債権	137	32減	62	17減	74	15減	—	—
土地等の差損益	189	22増	3	2増	185	19増	—	—

(注) 1. 有価証券差損益は、有価証券のうち時価のあるものを記載しております。
2. 土地等の差損益は、原則として鑑定評価額(重要性の低い物件等については公示価格等)をもとに算出しております。

<市場整合的エンベディッド・バリュー (MCEV) >

(単位：億円)

	T&D保険グループ全体 (Group MCEV)		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第3四半期末	前年度末比	当第3四半期末	前年度末比	当第3四半期末	前年度末比	当第3四半期末	前年度末比
MCEV	約 19,740	約 3,090 増	約 7,120	約 750 増	約 11,410	約 2,180 増	約 920	約 150 増

	T&D保険グループ全体 (3社合計)		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第3四半期累計		当第3四半期累計		当第3四半期累計		当第3四半期累計	
新契約価値	約 720		約 210		約 480		約 30	

(注) 上記の数値は一部簡易な計算を行っており、第三者の検証は受けておりません。

■ T&D保険グループ

- ・ **Group MCEV**は、約1兆9,740億円と、前年度末から約3,090億円の増加。
※Group MCEVは「生命保険事業のMCEV(約1兆9,470億円)」と「生命保険以外の事業に係る純資産(約260億円)」の合計額です。
新契約価値は、約720億円となった。

■ 各社の状況

- ・ **太陽生命のMCEV**は、約7,120億円、前年度末から約750億円の増加。
新契約価値は、約210億円となった。
- ・ **大同生命のMCEV**は、約1兆1,410億円、前年度末から約2,180億円の増加。
新契約価値は、約480億円となった。
- ・ **T&Dフィナンシャル生命のMCEV**は、約920億円、前年度末から約150億円の増加。
新契約価値は、約30億円となった。

[平成26年3月期通期業績予想]

○T&Dホールディングス連結

平成26年3月期の通期業績予想は次のとおりです。(平成25年5月15日公表分から変更ありません。)
(単位：億円)

	平成25年3月期実績	平成26年3月期予想
経常収益	24,189	21,200 程度
経常利益	1,516	1,650 程度
当期純利益	637	660 程度

1株当たり年間配当金予想は22.5円です。

なお、上記の前提となる生命保険会社3社(単体)の平成26年3月期の通期業績予想は次のとおりです。
(単位：億円)

	太陽生命	大同生命	T&Dフィナンシャル生命
経常収益	9,700 程度	8,700 程度	3,400 程度
経常利益	720 程度	750 程度	160 程度
当期純利益	260 程度	280 程度	120 程度

※実際の業績は、今後様々な要因によって、上記業績予想と大きく異なることがあります。

以 上

(参考) 生命保険会社3社の平成26年3月期通期見通し

平成25年5月15日公表分から変更ありません。

(単位：億円)

	3社単純合算	太陽生命	大同生命	T&Dフィナンシャル生命
基礎利益	1,570 程度	680 程度	820 程度	70 程度
保険料等収入	17,400 程度	7,800 程度	7,300 程度	2,300 程度
逆ざや額 (正值の場合は順ざや額)	70 程度	60 程度	30 程度	△20 程度
新契約高	66,500 程度	30,400 程度	33,400 程度	2,700 程度
保有契約高	596,400 程度	218,300 程度	359,100 程度	19,000 程度
解約失効率 (%)		5.9%程度	7.5%程度	3.5%程度

(注) 1. 新契約高、保有契約高および解約失効率は、個人保険と個人年金保険の合計です。

また、新契約高には転換による純増加高を含みます。

2. 大同生命の契約高に関して、「Jタイプ(無配当重大疾病保障保険)」の重大疾病保険金額を加算した金額は、次の見通しです。「Jタイプ」は普通死亡の保障がないため、上記の契約高には計上しておりません。

新契約高 : 3兆8,300億円程度

保有契約高 : 37兆1,100億円程度

※実際の業績は、今後様々な要因によって、上記見通しと大きく異なることがあります。

以上